

NPO 宮島ネットワーク
令和6年（2024）12月（令和6年度第5回）月例会議事録

日時 令和6年 12月20日（金）午後4時～5時40分
場所 宮島商工会館 2F 会議室

出席者 18名

挨拶 理事長 今日は寒い中、また年末の忙しい時期にも関わらず沢山の人に集まってくれて感謝。また議題にも入っているが、包ヶ浦公園に高級宿泊施設を誘致する市の案がまだ残っている。NPO としても市議会に要望書を提出したので、ご報告します。

1) 腰細浦海岸の清掃 11/23（土）の結果について

- ・11/23（土）、参加者 53 人、スタッフ 12 人、回収ゴミ 178.3kg

2) エフピコ環境基金への助成申請について

- ・12/23(月)までに申請。

3) 環境省「令和6年度自然を生かす上質なツーリズム人材育成・地域づくり支援事業」那須集合研修 11/26～28、12/10 リモート報告会 参加者報告について

ア) 宮島からの参加者：3名

イ) 報告 略

- ・宮島へ1/06-08 講師が派遣される

4) 車椅子ルートマップの作成について（マップ内容の検討）

- ・マップ案表裏 A3 版 2 枚（モノクロコピー）を配布。
- ・修正点や意見は、紙に書いて提出。

5) さくらもみじの会の活動について

- ・次回 1/18(土)藤の棚などへ寒肥の施肥。
- ・会は、3月末までだが、引き継ぎ者など何らかの形で継続したい。

6) アサリ浜の保全について

- ・10月から大野町の浜のアサリが斃死して、前潟などが絶滅状態になっている。宮島でも対岸の多々良潟などに被害が出ている。
- ・NPO のアサリ浜でも被害がでていいるかも知れないが、調べていない。
- ・県でも原因を調べたが分かっていない。海底の送電線の交換埋設で、海底のヘドロを2～3m 水流で撒きあげたのでそれが原因かもしれない。
- ・アサリの幼生は、10月と4月に貝から放出され、海をただよって良いところに着生する。場所が悪いと分かるとまたただよって次の場所を探す。1ヵ月くらい

は場所を探して移動する。

- ・エイを防ぐために浜に被せている網のために浜の土が固くなり、貝の移動を妨げている側面もある。NPOのアサリ浜も、一部の網を外して様子を見る方法もある。何割か魚に食べられるのを覚悟でいれば、天敵のタナゴなどが砂をかき混ぜて浜の環境が改善するかもしれない。

7) 包ヶ浦公園の開発について NPO の見解を表明

- ・廿日市市議会へ NPO の要望書を 11/22(金)に提出した。12月市議会で取り上げられるように、急いでまとめた。
- ・要望趣旨：包ヶ浦公園は「海水浴や自然探勝、キャンプなどレクリエーションの場」として 40 数年前に整備されたが、時代のニーズに合わなくなって利用者が減り、逆に絶滅危惧種など希少な動植物の生存場所として残った。人がシカの食害から守らなければ消滅するシバナの保全など、多様な生物の共生生存を図る SDGs の観点から利用存続を図るべき。水質保全を含めてエリアを一体的に保全すべきであり、急激な環境変化や、一部事業者に管理を任せる事業には反対する。
- ・メールで送れる会員へは、提出後に全文を送信した。
- ・初めての出席者もいるので、会場で「要望書」プリント 1 部を回覧。
- ・市議会では、12/13 の常任…会で取り上げられ、旅館組合など他団体の意見書と同様に扱われることになったとのこと。

8) その他

ア) アサリ浜借用出資金の返還

イ) 宮島特産品振興大会作品展示の終了

- ・50年記念年で拡大展示、11/03-10の7日間のうち6日間の受付を担当。
- ・会場：etto 宮島ホールで、観光客の来場もあり、計 1043 名来場。
- ・パンフレット、来年度以降の開催について意見が出る。

ウ) 廿日市市観光課から NPO へヒアリングの申入れ

- ・目的：包ヶ浦公園の活用について NPO の意見を聞きたい。
- ・ヒアリングの相手方：コンサルと市職員
- ・コンサルは「宮島包ヶ浦自然公園利活用方針策定業務」受託事業者の職員
- ・協議し、出席者と日時を決定。日程調整をする。

会議後に忘年会を開催